

世界の農業用水の利用量 2001年

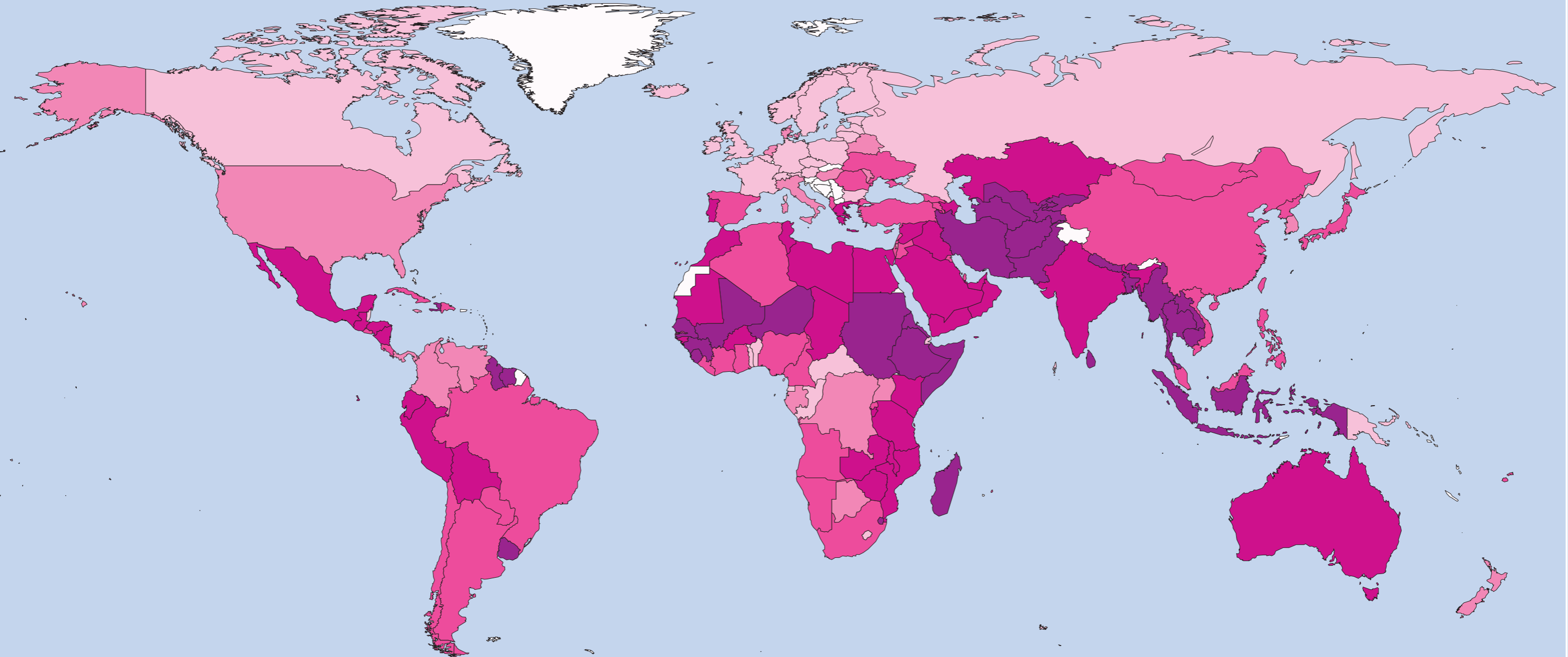
Proportion of total water withdrawal withdrawn for agriculture



農業は土地、水などの天然資源を有効に使って食料を生産し、世界の人口を養い続けています。水資源については、特に最大のユーザーとして、人間が利用している水の70%近くを農業用水として使用しています。地域別には、アフリカのサヘル地域、西南アジアの乾燥農業地域、インドシナ半島やインドネシア

などの東南アジアにおいて、世界平均をはるかに超える高い割合で農業用水として使用されています。ただし世界の多くで、水利用が限界に近づきつつある地域が増えているのが現実です。水不足と水紛争の増加は、食料確保や貧困削減の点から、特に農村部の将来に向けた発展への大きな脅

威になっています。このため、技術的課題と社会的役割の評価に基づいた、かんがい農業と天水農業における総合的な水管理システムの改善が求められています。



農業用水、飲料用水、工業用水として利用される総取水量のうち、農業に利用される水量の割合

データなし
 25%以下
 25-50%
 50-75%
 75-90%
 90%以上

出典：AQUASTAT 予測：Plate Carree

本地図において使用している名称および資料の表示は、国、海域もしくは境界の決定における法的または憲法上の地位に関するFAOのいかなる見解をも意味するものではない。